

世界の海で活躍する船員を育てる 国立高等専門学校(商船学科)

5月12日(土)、朝中読者特派員の池田 香寿くん(つくば市立手代木中1年)が山口県大島郡にある大島商船高等専門学校(以下:大島商船)を訪ね、練習船「大島丸」や実習船「すばる」の乗船、操船シミュレーターによる操船訓練などの体験取材を行いました。

航海士や機関士を目指して

練習船「大島丸」の船内を見学。見慣れない船内の設備に興味。

大島商船を訪れた池田くんを迎えたのは、全長41・0メートルの練習船「大島丸」。緊張した表情で乗船した池田くんが最初に案内されたのは、船の心臓部でもあるエンジンを操作するエンジンコントロールルームでした。

「ここでは1300馬力あるメインエンジンの監視と制御を行います」と、一等航海士でもある本木久也先生(以下:本木先生)が説明。

「大島丸には普通のプロペラとは違い、可変ピッチプロペラと呼ばれるプロペラがついています。羽の角度を自由に変えることができ、その角度で船を前進や後進させることができます。ま



練習船「大島丸」の舵を握る池田くん

「ここに立って海を見てくださいか?」と、本木先生の言葉で舵の前へ案内されると、海を見渡しながら舵を握り操船の雰囲気を感じました。



実習船「すばる」に乗船

「ここでも可能です」と、大島丸に取り付けられているプロペラについて、模型を使いながら分かりやすく教えてくれました。池田くんは、プロペラの模型をじっくり観察すると、そのカタチや仕組みをノートに書きとめました。

次に案内されたのは、船の進路を操作する操舵室。初めて見る計器類を池田くんが興味深く見ていると、目の前でレーダーや電子海図の電源が入られる他船の位置に、池田くんからは「すごい。これで周囲の船の位置が分かるんだ」と感心の声があがりました。

商船学校で学ぶ生徒について質問。商船学校の魅力。
船や海について学ぶことの楽しさを体験した池田くん。体験



シミュレーターで操船を体験

「難しい」と、最初は不安な気持ちで口にする池田くんも、商船学科講師の久保田崇先生(以下:久保田先生)から操船の仕方や注意点を教わると、まるで操船ゲームを楽しむように嬉しそうな表情で船を走らせました。

操船シミュレーターによる操船体験。実際の海を再現。

練習船「大島丸」の見学後に案内されたのは、校舎内にある操船シミュレータールームでした。大島商船の操船シミュレーターは全国の商船高専の中で最も大きく、大島丸が浮かぶ大島瀬戸の風景をスクリーンに投影し、海上で操船している時に近い状況で訓練ができるようになっています。前方と左右を囲むようにして設置された壁のよう

取材の最後に、商船学校に対する疑問を久保田先生に質問しました。

「大島商船の生徒は、どのような夢を持って学んでいるのですか?」との質問に、久保田先生は「大島商船で学ぶ生徒は、船員や海外を行き来する仕事にあらがれている生徒ばかりです。日本は多くの資源を輸入し、多くの製品を輸出していますが、その中でも海運による輸送は必

取材を終えて 読者特派員の感想



池田 香寿くん(つくば市立手代木中1年)

大島商船高専は とても魅力的な学校でした。

大島商船は、115年という長い歴史があり、日本に五校ある商船高専の中で一番西にある学校です。

見学させていただいた練習船「大島丸」のエンジンは1300馬力。とても大きい船体に圧迫されました。操縦室には、船の周りの物体を映像化するレーダーや、速度を調節するテレグラフ、電子海図などがあり、今にも動き出しそうで、まるで自分が船長になったような気分になりました。「大島丸」では操縦だけでなく、いかりを下ろしたり、港につけるための実習など、船員になるために必要な様々な技術を学ぶそうです。

練習船「すばる」は、時速60km位まで出せて、車のように操縦が利きますが、ゆれが激しいため学生さんでも酔いをする方がいるそうです。大島商船では5年生まで、「大島丸」と「すばる」の2台の練習船で実習をし、卒

要不可欠です。日本と世界を結んでいる海運を支えているのが、船員たちなんです」と、世界の海を舞台に活躍する船員が、商船学校で育てられていることを教えてくれました。

池田くんは、体験取材で船を動かす仕組みや船員になるために必要な知識、さらには、船員が日本だけではなく世界で活躍できる職業だということを知りました。

中学生の皆さん、君の夢を船に!

参加無料

国立高等専門学校(商船学科) 5校合同進学ガイダンスを開催します。

目指せ! 船長・機関長。先生や卒業生から船の仕事や将来性、入試案内や学校生活など貴重で楽しい話を聞くことができる進学ガイダンスを好評のため今年度も全国3箇所で開催します。参加費無料ですので中学校の先生、保護者の方、中学生の皆さん、是非この機会にご参加ください。

国立高専(商船学科)5校進学ガイダンス 申し込み方法

記入事項 「2012年高専進学ガイダンス参加希望」と明記 ①希望場所(神戸・横浜・広島) ②参加人数 ③上記②全員の氏名(フリガナ)・性別・年齢若しくは学年 ④入場券送付先(氏名、〒・住所、電話番号)をご記入の上、以下宛先にメール・FAX・ハガキのいずれかにてお申し込み下さい。

送付先 メール: guidance@jsanet.or.jp FAX: 03-5226-9166
ハガキ: 〒1102-8603 東京都千代田区平河町2-6-4 海運ビル
日本船主協会「合同進学ガイダンス係」

●申し込み方には、順次、入場券を送付いたします。
お問い合わせ先 日本船主協会 担当: 中村(なかもろ)、高山(みつや) Tel 03-3264-7178
お申込者に関する情報は、進学情報、海運広報にのみ利用させていただきます。

募集人員 各会場先着100名

神戸 日時 ▶ 2012年7月1日(日) 13:00~17:30
場所 ▶ 神戸海洋博物館(神戸市中央区波止場町2-2)
※高専練習船による乗船体験あり。

横浜 日時 ▶ 2012年7月16日(月) 13:00~17:30
場所 ▶ (独)航海訓練所練習船「銀河丸」船内
(横浜市中区新港町無番地 新港埠頭5号岸壁)
※銀河丸の船内見学あり。

広島 日時 ▶ 2012年7月29日(日) 13:30~17:00
場所 ▶ 広島国際会議場(広島市中区中島町1-5)

ガイダンスプログラム(予定)
■主催者挨拶・オリエンテーション
■国立高専(商船学科)に関する総合説明
■卒業生からのメッセージ(現役航海士及び機関士)
■各校ブースでの個別説明会
※会場によりプログラムが異なる場合があります。